

吉岡知広 無伴奏リサイタルシリーズ Vol.1

ALONE

尾高惇忠：独奏チェロのための「瞑想」

Atsutada Otaka: "Meiso" pour Violoncello seul

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 BWV1007

J.S.Bach: Cello Suite No.1 in G major, BWV 1007

リゲティ：無伴奏チェロソナタ

Ligeti: Sonata for Violoncello Solo

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 BWV1008

J.S.Bach: Cello Suite No. 2 in D Minor, BWV 1008

※曲順・曲目は変更になる場合もございます。予めご了承ください。

吉岡知広 × 無伴奏

様々な音域を奏でられ、

人の声に最も近い楽器と言われるチェロのために書かれた曲は数多くありますが、

その中でもチェリストにとって特別な存在であるバッハの無伴奏チェロ組曲、

これから3年間をかけてこのチェロ組曲全曲に取り組んでいきます。

学生時代に日本とドイツで学んだこの曲を、

少し年齢を重ねた自分が改めて「向き合ってみる事」をテーマに、

近現代の素晴らしい曲と共に皆様にお届けします。

チェロ 吉岡知広

Tomohiro YOSHIOKA, Cello

1988年1月1日生まれ、仙台市出身。6歳よりチェロを始める。

桐朋女子高校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。2011年よりドイツ、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に在学するとともに、名門ライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラと学生契約をし在籍。卒業後はライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラアカデミーに在籍した。

第9回ピバホールチェロコンクール第4位入賞。これまでに軽井沢八月祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭などの主要な音楽祭などにも招待されている。また2016年の仙台クラシックフェスティバルのグランドフィナーレでは仙台フィルハーモニー管弦楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲を共演、好評を博す。

これまでにチェロを金木博幸、青木十良、藤原真理、毛利伯郎、クリスティアン・ギガーの各氏に、また弦楽四重奏を中心に、室内楽を今井信子氏、東京クアルテットに師事。

現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団に首席チェロ奏者として在籍している他、国内の様々なオーケストラの客演首席奏者を務めるなど幅広く活躍している。



2019.12.23 (Mon) 18:30 Open 19:00 Start

宮城野区文化センター PaToNa シアター

JR仙石線「陸前原ノ町」駅下車徒歩1分/市営バス「宮城野区役所前」下車徒歩3分
隣接する専用駐車場が混雑する場合がございます。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

全席自由 100席 一般 3,000円 (当日 3,500円) 学生 U25 1,500円 (当日 2,000円)

●藤崎 ●宮城野区文化センター ●ヤマハミュージック仙台店 ●カワイ仙台 ●銀座山野楽器仙台店2F弦楽器フロア 2019.8.29 発売開始

※未就学のお子様のご入場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

【後援】河北新報社、TBC 東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB 東日本放送、エフエム仙台、(公財) 仙台市市民文化事業団、(公財) 仙台フィルハーモニー管弦楽団

【制作協力・お問い合わせ】HAL PLANNING (ハル・プランニング) 022-262-1682 (平日 10:00 ~ 18:00) E-mail: halplanning.email@gmail.com

Photo by Masafumi Tamura